

アジア経済概況(2016年1-3月)

調査部 研究員 野田 麻里子

【目次】

. 中華圏・韓国

1. 中国経済の概況・・・1-3月期の成長率は+6.7%とさらに小幅鈍化……………p.2
2. 中国の主要指標解説: 中国の過剰債務問題……………p.4
3. 台湾経済の概況・・・1-3月期の実質GDP成長率は-0.8%と低迷……………p.5
4. 韓国経済の概況・・・1-3月期の実質GDP成長率は+2.7%に鈍化……………p.6

. ASEAN・インド

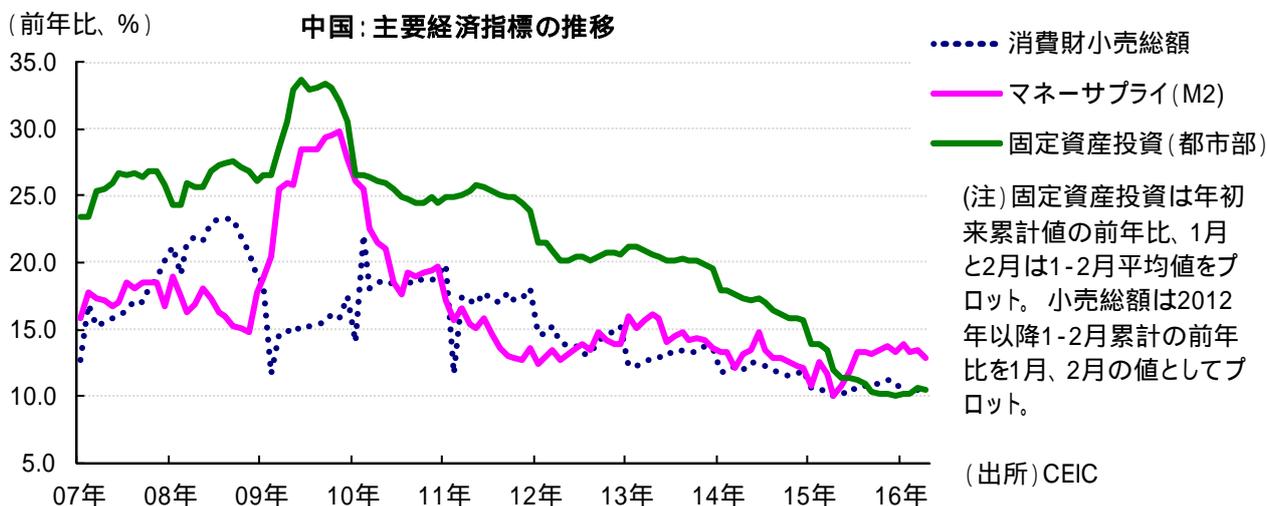
1. タイ経済の概況・・・1-3月期の成長率は+3.2%と小幅加速……………p.7
2. インドネシア経済の概況・・・1-3月期の成長率は+4.9%に小幅鈍化……………p.8
3. マレーシア・フィリピン・シンガポールの主要経済指標……………p.9
4. ベトナム経済の概況・・・1-3月期の成長率は+5.5%に鈍化……………p.10
5. インド経済の概況・・・景気は力強さに欠ける状態が続いている……………p.11

. アジア通貨・株価動向……………p.12

中華圏・韓国

1. 中国経済の概況

- ・ 景気は減速している。
- ・ 1-3 月期の実質 GDP 成長率は前年比 + 6.7% と前期 (+ 6.8%) からさらに小幅鈍化した。前期比ベースでは + 1.1% (年率換算で + 4.5%) と前期 (+ 1.5%、年率換算で + 6.1%) に比べて大幅に鈍化した。産業別にはどの産業も前年通年に比べて伸び率が鈍化したものの、第 3 次産業が不動産部門の持ち直しなどから前年比 + 7.6% と相対的に堅調な伸び率を維持し、第 2 次産業も建設業の持ち直しから同 + 5.8% と小幅鈍化で推移している。
- ・ 1-3 月期の消費 (消費財小売総額) は前年比 + 10.3% と前年実績 (+ 10.7%) を下回ったものの、依然として二桁台の伸びを維持している。昨年 10 月から始まった自動車減税 (2016 年 12 月末まで) の効果、あるいはインターネット販売の拡大などが寄与しているとみられる。1-3 月期のインターネット販売額は前年比 + 27.8% と大幅に増加し、小売売上上の 13.1% を占めるまでに拡大している。
- ・ 一方、1-3 月期の固定資産投資はインフラ投資の拡大や住宅購入規制の緩和を受けた不動産関連投資の持ち直しから前年比 + 10.7% と前年実績 (+ 10.0%) を上回る拡大となった。
- ・ 輸出入とも 1-3 月期は依然として前年比マイナスで推移している。3 月単月では、春節休暇期間のズレの影響で、輸出が前年比増加に転じ、輸入の減少幅も一桁台に縮小したが、4 月には輸出は再び前年比 - 2.0% と減少に転じ、輸入の減少幅も同 - 10.5% と拡大している。
- ・ 製造業購買担当者指数 (PMI) は 3 月、4 月と 2 カ月連続して景気の拡大と縮小の分岐点である 50 を上回った。またサービス業 PMI も緩やかな低下傾向にあるものの 4 月も 53.5 と 50 を上回って推移しており、景気に力強さはないものの、安定化の方向にあるとみられる。
- ・ 足元、天候要因などから食品価格が高騰しており、2 月以降、消費者物価上昇率は前年比 + 2.3% と 2% 台で推移している。一方、4 月のマネーサプライ増加率は金融緩和基調の中で前年比 + 12.8% と高い水準で推移しており、景気を下支えしているとみられる。



【中国・香港の主要経済指標】

			2013年	2014年	2015年	15/1Q	15/2Q	15/3Q	15/4Q	16/1Q	16/1月	16/2月	16/3月	16/4月	
中国	GDP	実質GDP成長率	前期比%				1.4	1.8	1.8	1.5	1.1				
			前年比%				7.0	7.0	6.9	6.8	6.7				
		(累計ベース)	前年比%	7.7	7.3	6.9	7.0	7.0	6.9	6.9	6.7				
		名目GDP成長率(累計ベース)	前年比%	10.1	8.1	6.4	6.6	6.8	6.6	6.4	7.2				
	消費	消費財小売総額	前年比%	13.1	12.0	10.7	10.5	10.2	10.7	11.1	10.4		10.2	10.5	10.1
		うち都市部	前年比%	12.9	11.8	10.5	10.3	10.0	10.5	10.9	10.3		10.1	10.4	10.0
		うち農村部	前年比%	14.6	12.9	11.8	11.6	11.6	12.0	12.1	11.0		10.9	11.1	10.9
		自動車販売台数	前年比%	13.9	6.9	4.7	3.9	1.0	2.4	15.8	6.0	7.8	0.8	8.9	6.4
		うち乗用車(セダン、SUV他)	前年比%	15.7	9.9	7.3	9.0	0.5	1.9	18.6	6.7	9.4	1.4	9.9	6.6
		消費者自信指数	期中平均	101.2	104.4	105.9	107.5	107.7	104.7	103.9	102.8	104.0	104.4	100.0	101.0
		消費者期待指数	期中平均	105.5	107.9	108.8	110.8	110.8	107.4	106.3	105.6	106.6	106.9	103.4	104.7
	投資	固定資産投資(都市部;年初来累計)	前年比%	19.6	15.7	10.0	13.5	11.4	10.3	10.0	10.7		10.2	10.7	10.5
		うち不動産・居住用建物	前年比%	20.3	11.1	2.5	9.0	5.7	3.8	2.5	8.2		4.8	8.2	8.4
		うち国内企業	前年比%	20.5	16.3	10.6	13.8	11.8	10.8	10.6	10.4		10.2	10.4	10.2
		うち製造業	前年比%	18.5	13.5	8.1	10.4	9.7	8.3	8.1	6.4		7.5	6.4	6.0
うち鉄鋼		前年比%	2.1	5.9	11.0	5.4	11.4	13.6	11.0	3.1		5.8	3.1	4.2	
うち自動車		前年比%	15.0	8.3	14.2	7.6	12.5	11.3	14.2	22.3		13.9	22.3	17.2	
うち電気機械		前年比%	10.7	12.9	8.7	13.4	9.9	9.3	8.7	14.7		11.8	14.7	14.9	
うち情報通信機器		前年比%	20.2	10.7	13.3	18.3	20.8	17.0	13.3	13.4		21.0	13.4	11.2	
直接投資契約件数(累計ベース)		前年比%	8.5	4.3	11.7	22.4	8.6	10.0	11.7	1.6	11.4	11.4	1.6	6.5	
直接投資実行額(累計ベース)		前年比%	2.3	3.7	1.7	10.6	8.0	8.6	1.7	1.5	1.1	0.1	1.5	1.8	
不動産景気指数	期中平均	97.3	95.2	93.2	93.4	92.5	93.3	93.3	93.9		93.7	94.2	94.4		
貿易 国際収支 外準	貿易収支	10億ドル	259.0	383.1	593.0	123.7	139.5	163.6	174.8	125.7	63.3	32.6	29.9	45.6	
	輸出(ドルベース)	前年比%	7.8	6.0	2.9	4.6	2.2	5.9	5.2	9.7	11.5	25.4	11.2	2.0	
	輸入(ドルベース)	前年比%	7.2	0.5	14.2	17.8	13.6	14.4	11.8	13.3	18.8	13.8	7.4	10.5	
	経常収支	10億ドル	148.2	277.4	330.6	85.3	88.0	65.5	91.9	48.1					
	外貨準備	期末10億ドル	3821.3	3843.0	3330.4	3730.0	3693.8	3514.1	3330.4	3212.6	3230.9	3202.3	3212.6	3219.7	
	生産	鉱工業付加価値額(累計ベース)	前年比%	9.7	8.3	6.1	6.4	6.3	6.2	6.1	5.8		5.4	5.8	5.8
		うち国有企業	前年比%	6.9	4.9	1.4	1.7	1.9	1.3	1.4	0.1		2.0	0.1	0.1
		うち株式会社	前年比%	11.0	9.7	7.3	7.4	7.5	7.5	7.3	7.2		6.9	7.2	7.2
		うち外商・港台企業	前年比%	8.3	6.3	3.7	4.3	3.8	3.5	3.7	3.3		2.4	3.3	3.1
		発電量	前年比%	8.3	5.1	2.4	3.0	3.9	1.7	1.4	63.4	n.a.	n.a.	5.9	0.1
製造業購買担当者指数(PMI)		%	50.8	50.7	49.9	49.9	50.2	49.8	49.7	49.5	49.4	49.0	50.2	50.1	
うち新規受注		%	51.7	51.6	50.2	50.3	50.3	49.9	50.1	49.8	49.5	48.6	51.4	51.0	
うち雇用	%	48.9	48.3	47.9	48.0	48.1	47.9	47.6	47.8	47.8	47.6	48.1	47.8		
新規輸出受注	%	49.4	49.6	47.9	48.4	48.4	47.8	47.1	48.2	46.9	47.4	50.2	50.1		
非製造業購買担当者指数(PMI)	%	54.9	54.4	53.6	53.8	53.5	53.6	53.7	53.3	53.5	52.7	53.8	53.5		
所得	都市一人当り処分所得(累計ベース)	前年比%	7.7	9.0	8.2	8.3	8.1	8.4	8.2	8.0					
雇用	労働力市場求人倍率	期末	1.10	1.15	1.10	1.12	1.06	1.09	1.10	1.07					
物価	消費者物価指数	前年比%	2.6	2.0	1.4	1.2	1.4	1.7	1.5	2.1	1.8	2.3	2.3	2.3	
	うち食品	前年比%	4.7	3.1	2.3	1.9	2.1	3.0	2.3	6.3	4.1	7.3	7.6	7.4	
	生産者物価指数	前年比%	1.9	1.9	5.2	4.6	4.7	5.7	5.9	4.8	5.3	4.9	4.3	3.4	
金融	マネーサプライ(M2)	前年比%	13.6	12.2	13.3	11.6	11.8	13.1	13.3	13.4	14.0	13.3	13.4	12.8	
	インターバンク金利(翌日物)	期中平均%	3.30	2.74	2.04	3.08	1.56	1.64	1.86	2.03	2.03	2.02	2.03	2.06	
	株価指数(上海総合)	期末	2,116	3,235	3,539	3,748	4,277	3,053	3,539	3,004	2,738	2,688	3,004	2,938	
	為替レート(元/ドル)	期中平均	6.20	6.14	6.23	6.14	6.12	6.26	6.39	6.53	6.55	6.53	6.51	6.48	
	為替レート(円/元)	期中平均	15.8	17.2	19.4	19.3	19.8	19.5	19.0	17.7	18.0	17.6	17.4	16.9	
香港	GDP	実質GDP成長率	前年比%	3.1	2.7	2.4	2.4	3.1	2.3	1.9	0.8				
		うち民間消費	前年比%	4.6	3.3	4.7	5.0	6.8	4.4	2.7	1.1				
		うち固定資本形成	前年比%	2.6	0.1	2.0	5.6	3.9	6.2	9.4	10.1				
		名目GDP成長率	前年比%	5.0	5.6	6.2	6.8	7.5	5.8	4.8	3.1				
	消費	小売販売数量指数	前年比%	10.8	0.4	0.2	0.0	5.9	0.2	4.4	12.3	16.7	12.4	7.5	
	貿易	貿易収支	10港HKドル	503	550	442	119	125	90	108	98	17	33	47	
		輸出(香港ドルベース)	前年比%	3.6	3.2	1.8	2.3	2.0	4.1	2.8	6.8	3.8	10.4	7.0	
		輸入(香港ドルベース)	前年比%	3.8	3.9	4.1	1.4	3.2	6.7	7.1	8.2	9.0	10.1	5.8	
	物価	消費者物価指数	前年比%	4.3	4.4	3.0	4.4	3.0	2.3	2.4	2.9	2.7	3.1	3.0	2.9
	金融	マネーサプライ(M3)	期末%	11.7	12.6	7.1	10.1	9.1	5.3	4.4	4.7	5.7	4.9	3.6	
ハンセン指数		期末ポイント	23,306	23,605	21,914	24,901	26,250	20,846	21,914	20,777	19,683	19,112	20,777	21,067	

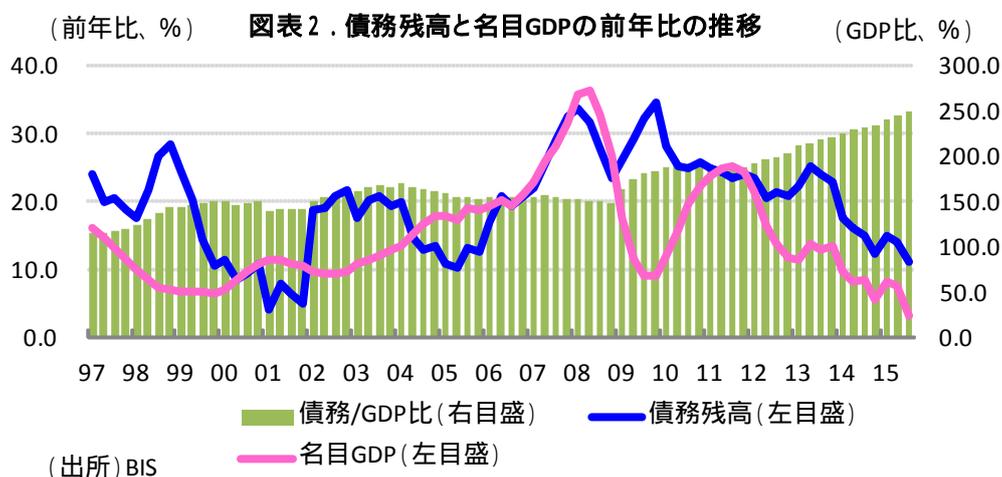
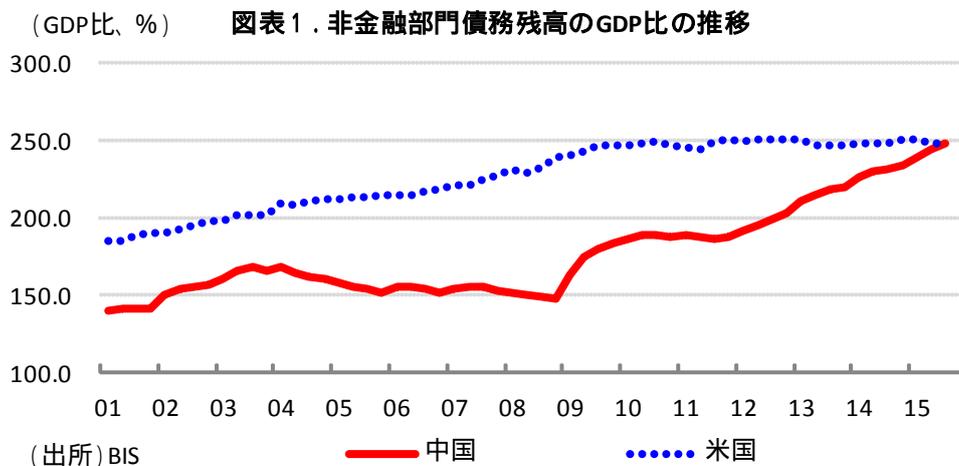
(出所) CEIC

2. 中国の主要指標解説：中国の過剰債務問題

1-3月期の実質GDP成長率は前年比+6.7%と政府の成長率目標(6.5%~7.0%)のレンジ内に収まった。また3月に消費、投資、輸出、生産といった主要指標が、春節休暇期間のズレといった要因もあり、一旦、持ち直したことから中国経済に対する極端に悲観的な見方はやや影を潜めているようだ。しかし、中国政府が今年の経済運営方針の中心に据える過剰生産能力の解消をはじめとする構造改革の推進は少なくとも短期的には経済にとって下押し圧力となり、先行きは楽観できない状況といえる。

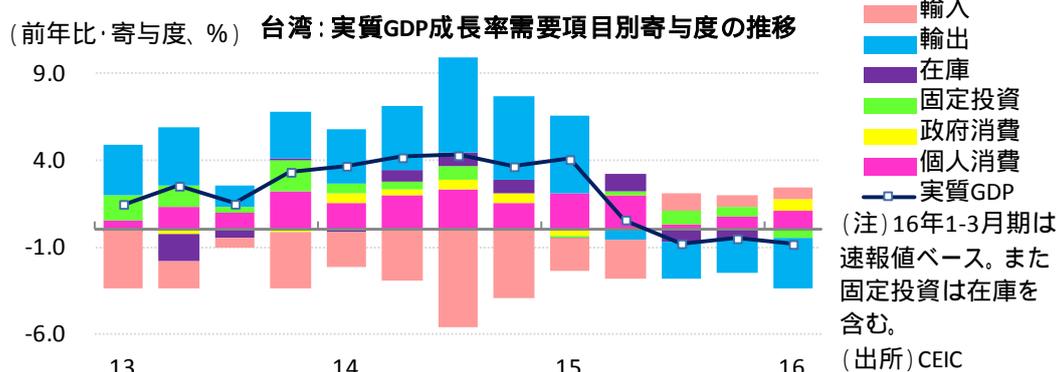
中でも最近、注目を集めているのが過剰債務の縮減の先行きである。BISの統計によれば、2015年7-9月期時点の非金融部門(非金融企業+家計+対家計非営利団体+一般政府)の債務残高のGDP比は248.6%に達している(図表1)。中国の債務問題の特徴は債務水準の高さに加えて、債務が積み上がるペースが速いことにある。何らかのきっかけで債務不履行が発生した場合には2008年のリーマン・ショックのような金融危機が発生してしまう可能性も指摘されている。一方でバブル崩壊後の日本のようにバランス・シート不況に陥り、長期間にわたって経済が低迷してしまう可能性を指摘する向きもある(Financial Times 2016年4月25日)。

90年代から2000年代はじめにかけて非金融部門の債務残高が近年より速いテンポで積みあがった時代もあったが、当時はまだ高成長時代であったことから分母の名目GDPも大きく伸びていたため、債務のGDP比率は160%前後にとどまっていた(図表2)。高成長から中高速の安定成長への移行を目指す中国が過剰債務を円滑に縮減できるのかどうか。過剰生産能力の解消の行方とも併せて当面、目が離せない状況にあるといえそうだ。



3. 台湾経済の概況

- ・景気は政府の景気対策の効果もあり、2 四半期連続で前期比プラス成長となったものの、依然として低迷している。
- ・1-3 月期の実質GDP成長率（速報値）は前年比 - 0.8%と 2015 年 7-9 月期から 3 四半期連続して前年比マイナス成長となった。個人消費は政府の消費刺激策や寒波到来に伴う冬物衣料品の販売増などから持ち直しているものの、中国経済の減速と電子部品等に対する世界的な需要の低迷から輸出の鈍化が続き、成長の足を引っ張っている。
- ・台湾国家発展委員会が発表した3月の景気総合指数は15ポイントと依然として「停滞（9～16ポイント）」レベルにとどまった。景気停滞を示す「青」信号が点灯するのは昨年6月以来10カ月連続と停滞期間はリーマン・ショック時の9カ月連続（2008年9月～2009年5月）を上回り、欧州債務危機時（2011年11月～2012年8月）の10カ月連続に並んだ（最長はIT不況期の15カ月）。
- ・台湾中銀は景気下支えのため、昨年9月、12月、今年3月と3回連続して利下げを行った。景気の低迷が続く中で次回6月にも一段の追加利下げを実施する可能性があると考えられている。
- ・5月20日に民進党の蔡英文政権が発足した。内政外交とも難しい課題を抱えての船出となった。



【台湾の主要経済指標】

		2013年	2014年	2015年	15/1Q	15/2Q	15/3Q	15/4Q	16/1Q	16/1月	16/2月	16/3月	16/4月
GDP (yoy)	実質GDP (前期比)				0.6	1.6	0.1	0.5	p 0.2				
	(前年比)	2.2	3.9	0.7	4.0	0.6	0.8	0.5	p 0.8				
	うち個人消費	2.3	3.3	2.3	3.7	3.6	0.5	1.5	p 1.8				
	うち総固定資本形成 (うち民間企業)	5.3 7.1	1.8 3.2	1.5 3.1	0.4 1.3	0.6 0.6	3.2 5.2	2.5 6.8					
生産	鉱工業生産(yoy)	0.7	6.4	1.7	5.4	1.2	4.7	5.7	4.3	6.0	4.1	2.9	4.1
消費	卸小売販売指数(yoy)	2.6	2.6	4.2	6.5	4.2	3.2	3.0	1.4	0.9	5.0	0.6	1.1
貿易 及び 対外 関連	貿易収支(10億ドル)	33.4	38.2	48.1	12.6	11.7	11.8	12.0	12.2	3.5	4.1	4.5	4.8
	輸出(yoy)	1.6	2.8	10.9	4.5	10.5	14.0	13.9	12.1	12.9	12.0	11.4	6.5
	輸出受注(yoy)	0.4	6.7	4.4	2.5	5.2	5.9	7.9	8.3	12.4	7.4	4.7	11.1
	輸入(yoy)	0.2	1.4	15.8	14.6	15.1	18.5	15.1	14.0	11.5	13.2	16.9	9.6
	経常収支(10億ドル)	51.5	62.5	75.5	21.5	15.4	18.6	20.1	20.7				
	外貨準備高(10億ドル)	417	419	426	415	421	426	426	432	426	429	432	433
雇用	失業率(季調値)	4.2	4.0	3.8	3.7	3.8	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	3.9	4.0
物価	消費者物価(yoy)	0.8	1.2	0.3	0.6	0.7	0.3	0.3	1.7	0.8	2.4	2.0	1.9
金融	M2(M2,yoy)	5.8	6.1	5.8	6.4	6.3	6.8	5.8	4.7	5.8	4.7	4.7	4.6
	株価指数(加権指数)	8,612	9,307	8,338	9,586	9,323	8,181	8,338	8,745	8,145	8,411	8,745	8,378
	短期金利(オールナイト)	0.39	0.39	0.36	0.39	0.39	0.36	0.29	0.21	0.23	0.20	0.20	0.20
	為替レート(NT\$/ドル)	29.8	30.4	31.9	31.6	31.0	32.2	32.8	33.4	33.6	33.6	32.9	32.4
	為替レート(円/NT\$)	3.28	3.49	3.79	3.77	3.92	3.79	3.70	3.46	3.51	3.42	3.44	3.39

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、貿易統計は再輸出と再輸入を加算した新ベース。

ご利用に際してのご留意事項を最後に記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ) 調査部 TEL: 03-6733-1070 E-mail: chosa-report@murc.jp

4. 韓国経済の概況

- ・ 景気は低迷している。
- ・ 1-3 月期の実質 GDP 成長率（速報値）は前年比 +2.7% と前期（同 +3.1%）から鈍化した。前期比ベースでは +0.4% と前期（+0.7%）に続いて 0% 台にとどまり、MERS 発生で経済活動が落ち込んだ 15 年 4-6 月期以来の低い水準となった。消費が昨年後半の消費刺激策の反動から落ち込み、また輸出が依然として不振であることが主因とみられる。輸出（通関ベース）は昨年 1 月から足元 4 月まで 16 カ月連続して前年割れの水準で推移している。一方、政府予算の前倒し執行により政府支出や建設投資が拡大し、景気を下支えた。
- ・ 韓国中銀は 5 月 13 日の金融政策委員会で、11 カ月連続となる政策金利の据え置き（1.50%）を決めた。中銀は 4 月に 1 月時点の成長率見通しを下方改訂した（2016 年：3.0% 2.8%；2017 年：3.2% 3.0%）。景気は緩やかな回復方向にあるものの、基調は依然として弱いとみている。
- ・ 4 月 13 日に行われた総選挙では与党セヌリ党が大敗し、与野党勢力が逆転した。このため今後、政局運営が困難化するるとともに構造改革が停滞することが懸念されている。



【韓国の主要経済指標】

		2013年	2014年	2015年	15/1Q	15/2Q	15/3Q	15/4Q	16/1Q	16/1月	16/2月	16/3月	16/4月
GDP (yoy)	実質 GDP (前期比)				0.8	0.4	1.2	0.7	0.4				
	(前年比)	2.9	3.3	2.6	2.4	2.2	2.8	3.1	2.7				
	うち個人消費	1.9	1.7	2.2	1.5	1.7	2.2	3.3	2.1				
	うち固定資本形成	3.3	3.4	3.8	2.6	2.2	5.1	5.4	3.1				
	うち設備	0.8	6.0	5.3	5.8	5.1	6.7	3.9	3.0				
生産	鉱工業生産 (yoy)	0.7	0.2	0.6	1.1	1.2	0.2	0.1	0.6	2.2	2.2	1.5	
消費	小売売上高 (数量, yoy)	0.7	2.0	3.8	2.1	3.4	3.5	6.2	4.5	4.6	3.1	5.7	
貿易 及び 対外 関連	貿易収支 (10億ドル)	44.0	47.2	90.3	21.6	24.6	20.3	23.7	22.0	5.1	7.0	9.9	8.8
	輸出 (yoy)	2.1	2.3	8.0	3.0	7.3	9.5	12.0	13.3	19.1	13.0	8.2	11.2
	輸入 (yoy)	0.8	1.9	16.9	15.6	15.6	18.7	17.8	16.3	20.1	14.6	13.9	14.9
	経常収支 (10億ドル)	81.1	84.4	105.9	22.4	27.9	29.1	26.4	24.1	6.8	7.2	10.1	
	外貨準備高 (10億ドル)	346	364	368	363	375	368	368	370	367	366	370	372
雇用	失業率 (季調値)	3.1	3.5	3.6	3.6	3.8	3.6	3.5	3.8	3.5	4.1	3.8	3.7
物価	消費者物価 (yoy)	1.3	1.3	0.7	0.6	0.5	0.7	1.1	1.0	0.8	1.3	1.0	1.0
金融	マネーサプライ (New M2, yoy)	4.6	8.1	8.2	8.5	9.6	9.0	8.2	7.9	8.4	7.8	7.9	
	株価指数 (総合)	2,011	1,916	1,961	2,041	2,074	1,963	1,961	1,996	1,912	1,917	1,996	1,994
	CD レート (3ヵ月物)	2.72	2.49	1.77	2.07	1.77	1.63	1.61	1.64	1.67	1.64	1.63	1.61
	為替レート (ウォン/ドル)	1,095	1,053	1,131	1,100	1,097	1,169	1,157	1,202	1,202	1,217	1,188	1,148
	為替レート (円/100ウォン)	8.9	10.1	10.7	10.9	11.1	10.3	10.5	9.6	9.8	9.2	9.7	9.5

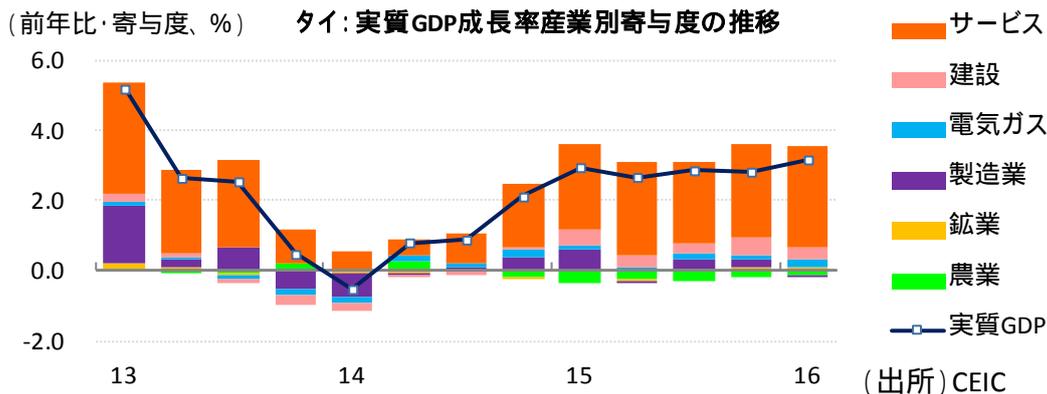
(出所) CEIC

(注) yoy = 前年比 (%)

ASEAN・インド

1. タイ経済の概況

- ・景気の回復テンポは緩やかなものにとどまっている。
- ・1-3月期の実質GDP成長率は前年比+3.2%と前期(同+2.8%)から小幅加速した。牽引役は観光客数の持ち直しに支えられた宿泊・飲食を中心とするサービス業である。外国人旅行客数は昨年8月末のバンコクでの爆発事件により10-12月期には前年比+3.7%と一桁台にまで鈍化していたが、1-3月期には同+15.5%にまで回復した。また旱魃の影響で主要穀物の生産が不振となっているものの、2013年に流行した早死症候群の影響が鎮静化しエビの生産が回復していることを受けて農業の前年比マイナス幅は10-12月期の-2.1%から1-3月期には-1.5%に縮小している。なお、国家経済社会開発委員会は財政によるテコ入れなどを背景に2016年の成長率見通しを2月時点の前年比+2.8~3.8%から幅を狭めて同+3.0~3.5%に改訂した。
- ・タイ中銀は5月11日、景気は回復基調にあるものの、下振れリスクが以前より高まっており、政策余地を残しておくため、として8会合連続となる政策金利の据え置き(1.50%)を決めた。



【タイの主要経済指標】

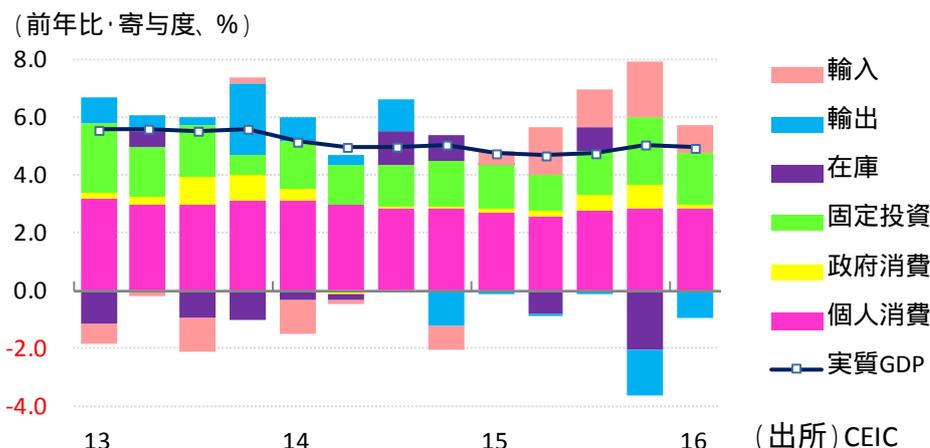
		2013年	2014年	2015年	15/1Q	15/2Q	15/3Q	15/4Q	16/1Q	16/1月	16/2月	16/3月	16/4月
GDP (yoy)	実質GDP	2.7	0.8	2.8	3.0	2.7	2.9	2.8	3.2				
	個人消費	1.0	0.6	2.1	2.5	1.7	1.8	2.6	2.3				
	総固定資本形成	1.0	2.4	4.7	10.3	2.6	2.6	9.4	4.7				
生産	製造業生産指数(yoy)	2.4	5.2	0.3	0.4	0.3	0.9	0.3	1.1	3.5	1.7	1.8	
消費	個人消費指数(yoy)	1.9	0.8	1.6	2.6	0.5	1.1	3.1	2.4	2.1	2.7	2.5	
投資	民間企業投資指数(yoy)	0.6	2.4	1.1	1.0	0.2	1.4	1.7	1.7	2.4	1.1	1.6	
輸出入 BOP ^A -ス	貿易収支(10億 ^{ドル})	6.7	24.6	34.6	7.5	7.9	9.6	9.6	13.3	2.6	6.0	4.7	
	輸出(yoy)	0.1	0.3	5.6	4.3	5.5	4.7	7.9	1.4	9.3	6.2	1.0	
	輸入(yoy)	0.1	8.5	11.3	7.3	10.2	14.5	13.2	14.4	17.8	16.3	9.1	
国際収支	経常収支(10億 ^{ドル})	5.2	15.4	31.6	8.4	6.1	6.9	10.2	16.4	4.1	7.4	5.0	
	外貨準備高(10億 ^{ドル})	159.0	149.1	149.3	148.5	152.5	148.0	149.3	166.9	152.6	159.8	166.9	170.1
雇用	失業率(季調前)	0.7	0.8	0.9	1.0	0.9	0.9	0.8	0.9	0.9	0.9	1.0	1.0
物価	消費者物価(総合,yoy)	2.2	1.9	0.9	0.5	1.1	1.1	0.9	0.5	0.5	0.5	0.5	0.1
	消費者物価(コア,yoy)	1.0	1.6	1.1	1.5	1.0	0.9	0.8	0.7	0.6	0.7	0.7	0.8
金融	マネーサプライ(broad M,yoy)	7.3	4.7	4.4	6.2	6.1	5.4	4.4	3.7	4.0	3.7	3.7	
	株価指数(SET)	1,299	1,498	1,288	1,506	1,505	1,349	1,288	1,408	1,301	1,332	1,408	1,405
	インターバンク金利(3M)	2.69	2.22	1.78	2.12	1.75	1.64	1.63	1.61	1.62	1.62	1.60	1.60
	為替レート(円/US\$)	30.7	32.5	34.2	32.6	33.3	35.2	35.8	35.7	36.2	35.6	35.2	35.1
	為替レート(円/TH\$)	3.17	3.25	3.53	3.65	3.65	3.46	3.39	3.23	3.27	3.23	3.21	3.13

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)

2. インドネシア経済の概況

- ・ 景気は緩やかなテンポで拡大を続けている。
- ・ 1-3 月期の実質 GDP 成長率は前年比 +4.9% と前期 (同 +5.0%) から小幅鈍化した。これは前期に予算執行の加速から政府消費や公共投資が拡大した反動や旱魃による農業生産の低迷といった一時的な要因によるものであり、景気の緩やかな拡大という基調に変わりはないとみられる。
- ・ インドネシア中銀は、物価の安定 (中銀の 2016 年のインフレ目標は $4 \pm 1\%$) を背景に、景気テコ入れのため 1 月から 3 月まで 3 回連続で利下げ (7.50% 7.25% 7.00% 6.75%) を行ったが、その後、経済は総じて安定的に推移しているとして 4 月、5 月と 2 カ月連続で政策金利を 6.75% で据え置いた。4 月の消費者物価上昇率は食品価格の低下と燃料価格の低下を背景とした運輸コストの下落などから前年比 +3.6% と 4 カ月ぶりに同 +3% 台に低下した。
- ・ インドネシア政府は昨秋から数次にわたる経済政策パッケージによって様々な分野で規制緩和を進めている。今年の成長率はこれらの政策の効果もあり、5% 台 (政府目標: +5.3%、中銀予測: +5.0% ~ +5.4% (3 月時点の +5.2 ~ 5.6% より下方修正)) に持ち直すと見られている。

インドネシア: 実質 GDP 成長率需要項目別寄与度の推移



【インドネシアの主要経済指標】

		2013年	2014年	2015年	15/1Q	15/2Q	15/3Q	15/4Q	16/1Q	16/1月	16/2月	16/3月	16/4月
GDP (yoy)	実質 GDP	5.6	5.0	4.8	4.7	4.7	4.7	5.0	4.9				
	個人消費	5.4	5.2	5.0	5.0	5.0	5.0	4.9	4.9				
	総固定資本形成	5.0	4.6	5.1	4.6	3.9	4.8	6.9	5.6				
生産	製造業生産 (yoy)	6.0	4.8	4.8	5.0	5.2	4.0	4.8	4.1	1.5	6.8	4.1	
消費	小売売上 (yoy)	12.9	14.5	13.3	15.5	22.0	7.2	9.9	11.7	12.9	10.6	11.6	11.3
輸出入	貿易収支 (10億ドル)	4.1	2.2	7.6	2.3	2.1	2.7	0.4	1.7	0.0	1.1	0.5	0.7
	輸出 (yoy)	3.9	3.6	14.6	11.8	11.7	16.2	18.8	14.0	20.9	7.1	13.4	12.6
	(除く石油ガス, yoy)	2.0	2.6	9.7	8.4	4.6	10.5	15.5	9.6	17.0	2.1	9.2	9.3
	輸入 (yoy)	2.6	4.5	19.9	15.0	20.3	23.4	20.8	13.0	17.0	11.6	10.4	14.6
国際収支	経常収支 (10億ドル)	29.1	27.5	17.7	4.1	4.3	4.2	5.1	4.7				
	外貨準備高 (10億ドル)	92.9	105.5	100.1	105.4	101.8	95.6	100.1	101.2	96.2	98.3	101.2	101.3
物価	消費者物価 (yoy)	6.4	6.4	6.4	6.5	7.1	7.1	4.8	4.3	4.1	4.4	4.4	3.6
金融	マネーサプライ (M2, yoy)	12.8	11.9	9.0	16.3	13.0	12.4	9.0	7.4	7.7	7.2	7.4	
	株価指数 (総合)	4,274	5,227	4,593	5,519	4,911	4,224	4,593	4,845	4,615	4,771	4,845	4,839
	中銀債金利 (3ヵ月)	7.50	7.75	7.50	7.50	7.50	7.50	7.50	6.75	7.25	7.00	6.75	6.75
	為替レート (ルピア/ドル)	10,563	11,885	13,458	12,857	13,160	14,055	13,758	13,506	13,846	13,395	13,276	13,204
	為替レート (円/100ルピア)	0.93	0.89	0.90	0.93	0.92	0.87	0.88	0.85	0.86	0.85	0.85	0.81

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比 (%)

3. マレーシア・フィリピン・シンガポールの主要経済指標

【マレーシアの主要経済指標】

		2013年	2014年	2015年	15/1Q	15/2Q	15/3Q	15/4Q	16/1Q	16/1月	16/2月	16/3月	16/4月
GDP (yoy)	実質 GDP	4.7	6.0	5.0	5.7	4.9	4.7	4.5	4.2				
	個人消費	7.2	7.0	6.0	9.0	6.4	4.1	4.9	5.3				
	総固定資本形成	8.1	4.8	3.7	7.9	0.4	4.2	2.7	0.1				
生産	鉱工業生産 (yoy)	3.4	5.1	4.5	6.5	4.3	4.5	2.9	3.3	3.3	3.9	2.8	
消費	自動車販売台数 (yoy)	4.5	1.6	0.0	5.3	11.2	2.5	4.1	22.0	11.9	24.8	27.6	6.7
輸出入	貿易収支 (10億ドル)	22.6	25.2	24.2	5.9	5.6	5.5	7.2	5.7	1.2	1.8	2.7	
	輸出 (yoy)	0.4	2.3	14.6	11.1	14.8	17.0	15.2	13.0	19.9	8.4	9.5	
	輸入 (yoy)	4.8	1.4	15.9	8.6	16.2	19.0	18.8	14.3	14.9	12.8	14.7	
国際収支	経常収支 (10億ドル)	11.3	14.8	8.9	3.1	2.2	1.1	2.5	1.2				
	外貨準備高 (10億ドル)	122	107	87	96	97	85	87	89	87	88	89	89
雇用	失業率 (%)	3.1	2.9	3.2	3.1	3.1	3.2	3.2	3.4	3.2	3.2	3.5	
物価	消費者物価 (yoy)	2.1	3.1	2.1	0.7	2.2	3.0	2.6	3.4	3.5	4.2	2.6	2.1
金融	マネーサプライ (M2, yoy)	8.4	7.5	2.8	8.5	6.5	5.5	2.8	0.9	2.2	2.8	0.9	
	株価指数 (総合)	1,867	1,761	1,693	1,831	1,707	1,621	1,693	1,718	1,668	1,655	1,718	1,673
	インターバンク金利 (1M, %)	3.07	3.21	3.36	3.32	3.29	3.39	3.42	3.31	3.35	3.29	3.28	
	為替レート (リンギ/ドル)	3.15	3.27	3.91	3.62	3.66	4.06	4.29	4.20	4.35	4.19	4.08	3.90
	為替レート (円/リンギ)	30.9	32.3	31.0	32.9	33.2	30.1	28.3	27.4	27.2	27.3	27.7	28.1

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比 (%)、鉱工業生産は2013年以降2010年基準。

【フィリピンの主要経済指標】

		2013年	2014年	2015年	15/1Q	15/2Q	15/3Q	15/4Q	16/1Q	16/1月	16/2月	16/3月	16/4月
GDP (yoy)	実質 GDP	7.1	6.2	5.9	5.0	5.9	6.2	6.5	6.9				
	個人消費	5.6	5.5	6.3	6.1	6.4	6.1	6.5	7.0				
	固定資本形成	11.8	6.2	15.2	8.8	12.7	13.9	24.2	25.6				
生産	鉱工業生産 (yoy)	5.4	6.3	4.4	0.1	7.4	6.0	3.8	10.9	26.1	5.6	1.9	
消費	自動車販売台数 (yoy)	15.7	29.5	22.9	21.6	19.8	23.1	26.6	21.6	27.6	21.7	16.8	30.3
輸出入	貿易収支 (10億ドル)	5.7	3.3	12.2	2.8	1.1	3.8	4.5	5.5	2.6	1.1	1.7	
	輸出 (yoy)	8.8	9.5	5.3	0.2	7.9	7.7	5.0	8.4	3.9	4.5	15.1	
	輸入 (yoy)	0.5	4.8	8.7	4.5	3.7	12.1	13.7	8.8	20.5	5.6	11.7	
国際収支	経常収支 (10億ドル)	11.4	10.8	8.4	2.2	2.3	0.1	3.8					
	外貨準備高 (10億ドル)	83.2	79.5	80.7	80.4	80.6	80.5	80.7	83.0	80.7	81.9	83.0	83.7
雇用	失業率 (%)	7.2	7.0	7.0	6.6	6.4	6.5	5.6	5.8				
物価	消費者物価 (yoy)	2.9	4.2	1.4	2.4	1.7	0.6	1.0	1.1	1.3	0.9	1.1	1.1
金融	マネーサプライ (yoy)	31.8	11.2	9.4	8.8	9.2	8.8	9.4	11.7	11.5	11.2	11.7	
	株価指数 (総合)	5,890	7,231	6,952	7,940	7,565	6,894	6,952	7,262	6,688	6,671	7,262	7,159
	国債 (3カ月, %, 期末)	0.00	1.42	1.84	1.40	2.14	1.51	1.84	1.47	1.684	1.513	1.469	1.55
	為替レート (ペソ/ドル)	42.4	44.4	45.5	44.4	44.7	46.1	46.9	47.3	47.5	47.6	46.7	46.3
	為替レート (円/ペソ)	2.30	2.38	2.66	2.68	2.72	2.65	2.59	2.44	2.49	2.41	2.42	2.37

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比 (%)。

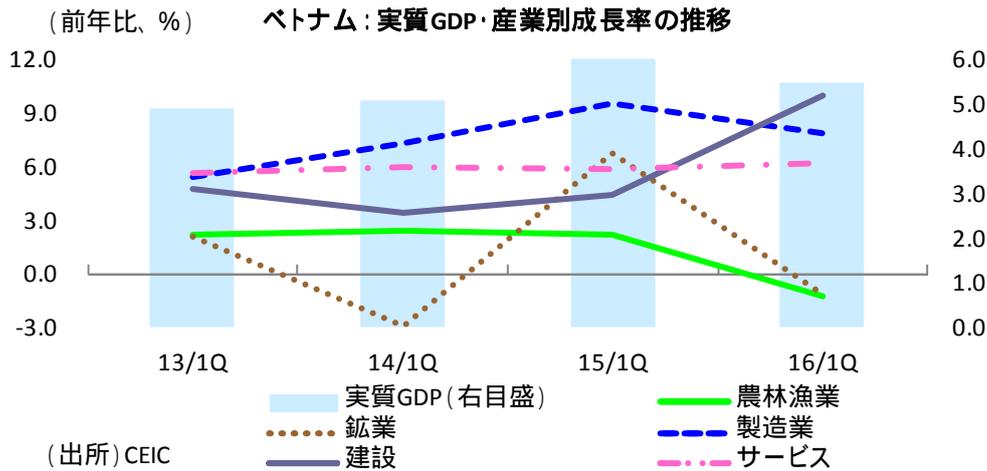
【シンガポールの主要経済指標】

		2013年	2014年	2015年	15/1Q	15/2Q	15/3Q	15/4Q	16/1Q	16/1月	16/2月	16/3月	16/4月
GDP (yoy)	実質 GDP	4.7	3.3	2.0	2.7	1.7	1.8	1.8	1.8				
	個人消費	3.1	2.2	4.5	3.5	4.5	4.6	5.5	3.0				
	総固定資本形成	5.7	2.6	1.0	4.2	2.3	1.6	0.7	0.5				
生産	鉱工業生産 (yoy)	1.7	2.7	5.1	4.3	4.3	5.7	6.2	1.0	1.1	3.8	0.5	
消費	小売売上金額 (yoy)	0.3	2.7	4.7	3.5	6.4	5.5	3.5	3.3	7.6	3.0	5.1	
輸出入	貿易収支 (10億ドル)	406.9	405.1	346.4	14.9	11.7	10.8	12.4	9.8	4.2	1.9	3.6	4.6
	輸出 (yoy)	0.1	0.5	14.5	12.0	15.2	17.3	13.3	14.6	20.8	6.9	14.2	8.0
	輸入 (yoy)	1.8	1.9	19.0	21.5	18.9	18.3	17.1	10.6	19.5	1.6	8.9	12.0
国際収支	経常収支 (10億ドル)	53.8	53.5	57.9	15.8	12.5	14.9	14.7	12.7				
	外貨準備高 (10億ドル)	273	257	248	248	253	252	248	246	245	244	246	250
雇用	失業率 (季調値, %)	1.9	2.0	1.9	1.8	1.9	2.0	1.9	1.9				
物価	消費者物価 (yoy)	2.4	1.0	0.5	0.3	0.4	0.6	0.7	0.8	0.6	0.8	1.0	0.5
金融	マネーサプライ (M2, %)	4.3	3.3	1.5	4.1	3.6	3.2	1.5	2.1	1.1	1.0	2.1	
	株価指数 (ストリート)	3,167	3,365	2,883	3,447	3,317	2,791	2,883	2,841	2,629	2,667	2,841	2,839
	SIBOR (3M, 期末値, %)	0.40	0.46	1.19	1.01	0.82	1.14	1.19	1.06	1.25	1.25	1.06	1.01
	為替レート (S\$ / ドル)	1.25	1.27	1.37	1.36	1.34	1.39	1.41	1.40	1.43	1.41	1.37	1.35
	為替レート (円 / S\$)	77.9	83.4	88.0	87.8	90.3	87.7	86.3	82.1	82.4	81.6	82.2	81.1

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比 (%)、輸出入伸び率は米ドル建てベース。

4. ベトナム経済の概況

- ・ 緩やかな景気回復が続いている。
- ・ 1-3 月期の実質 GDP 成長率は前年比 +5.5%と前年同期の同 +6.0%に比べて 0.5%ポイント鈍化した。これは 北部の寒波、中・南部の旱魃や海水冠水の影響で農業生産が落ち込んだこと、 鉱業生産の伸び率が大幅に拡大した前年からの反動もあり落ち込んだこと、 輸出主力製品である携帯電話の生産が前年比減少に転じるなど製造業生産の伸びが鈍化したこと、などが要因である。
- ・ 1-3 月期の成長率が 6%を下回ったことを受けて、IMFと世銀は今年のベトナムの成長率見通しをそれぞれ当初見通しから引き下げた（IMF：6.4% 6.0%、世銀：6.3% 6.2%）。しかし、ベトナム政府は海外からの直接投資が引き続き好調（1-4 月期の海外直投の実行額は前年同期比 +12%）であることなどを背景に 6.7%の成長率目標を維持している。
- ・ 1-4 月期の鉱工業生産の伸び率は鉱業部門の不振から前年比 +7.3%と前年同期の同 +9.4%に比べて低下しているが、製造業に限れば、1-4 月期同 +9.6%と前年同期（同 +10.1%）に比べてわずかな低下にとどまっている。



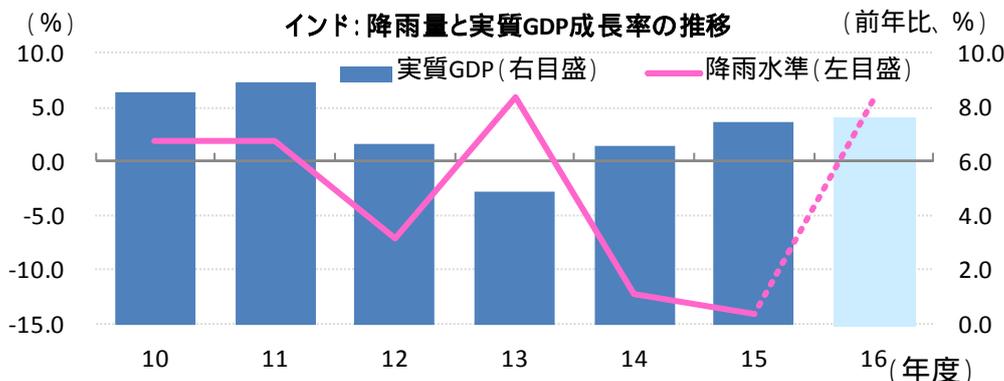
【ベトナムの主要経済指標】

		2013年	2014年	2015年	15/1Q	15/2Q	15/3Q	15/4Q	16/1Q	16/1月	16/2月	16/3月	16/4月
GDP (yoy)	実質 GDP	5.4	6.0	6.7	6.0	6.3	6.5	6.7	5.5				
	農業	2.7	3.5	2.4	2.1	2.4	2.1	2.4	1.2				
	工業・建設	5.4	7.1	9.6	8.4	9.1	9.6	9.6	6.7				
生産	鉱工業生産 (ytd, yoy)	5.9	7.6	9.8	9.1	9.6	10.1	9.8	6.3	5.9	6.6	6.3	7.3
消費 ytd	小売売上 (名目, yoy)	12.6	10.6	9.5	10.0	9.8	9.8	9.5	9.1	11.7	9.7	9.1	8.8
輸出入	貿易収支 (10億ドル)	0.0	0.8	4.1	2.7	1.2	0.4	0.2	1.2	0.8	0.2	0.6	0.0
	輸出 (yoy)	15.3	13.7	7.9	9.0	9.3	9.4	4.4	6.4	0.3	6.2	13.3	5.6
	輸入 (yoy)	16.0	13.1	11.3	19.7	13.7	11.6	2.1	4.1	8.5	1.8	1.6	6.6
国際収支	経常収支 (10億ドル)	7.7	9.4		1.3	0.7	0.7						
	外貨準備高 (10億ドル)	25.5	33.8	27.9	36.5	37.0	30.3	27.9					
物価	消費者物価 (yoy)	6.6	4.1	0.6	0.7	1.0	0.5	0.3	1.3	0.8	1.3	1.7	1.9
金融	株価指数 (VN index)	504.6	545.6	579.0	551.1	593.1	562.6	579.0	561.2	545.3	559.4	561.2	598.4
	プライムレート (翌日物: 期末)	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00
	為替レート (ドン/ドル)	20,949	21,159	21,692	21,458	21,601	21,818	21,890	21,884	21,881	21,914	21,857	21,842
	為替レート (円/100ドン)	0.47	0.50	0.56	0.56	0.56	0.56	0.55	0.53	0.54	0.52	0.52	0.50

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比 (%), ytd = 年初来累計ベース。

5. インド経済の概況

- ・ 景気は力強さに欠ける状態が続いている。
- ・ 前年比+7%台の成長が続いているが、2年続きの早魃で農村が疲弊し、人口の約7割が住む農村部の消費の不振を背景に内需が盛り上がり欠け、また輸入品との競合、さらには海外経済の減速傾向などもあり企業の設備投資は低迷している。ただし、今年4月半ばに発表されたインド気象局の降雨予想によれば、今年のモンスーン期の降雨量は平年を上回る見込みである。またモディ政権の経済改革への取り組みへの期待から海外からの直接投資の流入額が増加傾向にあり、16/17年度(16年4月~17年3月)の成長率は15/16年度を上回るとの予測が大勢を占めている。
- ・ インド準備銀行は4月5日に昨年9月29日以来約半年ぶりに政策金利を6.75%から6.50%に引き下げた。次回の6月7日の政策決定会合についても金融緩和の余地があると判断されれば、追加利下げを行う用意があると表明している。



(注1) 降雨水準はモンスーン期(6-9月)の実際の降雨量の長期平均水準からの乖離幅。16年度はインド気象局の予測。
 (注2) GDPは13年度以降2011/2012年度基準。16年度の成長率はインド準備銀行の予測値。
 (出所) CEIC、インド気象局

【インドの主要経済指標】

		2013年	2014年	2015年	15/1Q	15/2Q	15/3Q	15/4Q	16/1Q	16/1月	16/2月	16/3月	16/4月
GDP (yoy)	実質GDP	6.3	7.0	7.3	6.7	7.6	7.7	7.3					
	農業生産	13.2	4.8	5.2	9.0	5.0	1.7	4.5					
	実質GDP(年度)	6.6	7.2										
	農業生産(年度)	13.2	4.9										
生産	鉱工業生産(yoy)	0.6	1.8	3.2	3.3	3.3	4.8	1.7	0.2	1.5	2.0	0.1	
消費	新車販売台数(yoy)	7.5	0.8	7.7	3.8	6.2	6.3	14.6	2.5	0.6	1.7	5.1	11.0
輸出入	貿易収支(10億ドル)	150.6	140.4	124.6	26.0	32.0	35.3	31.2	19.2	7.6	6.5	5.1	4.8
	輸出(yoy)	6.1	2.4	17.0	14.7	16.1	18.2	19.2	8.4	13.7	5.9	5.5	6.7
	輸入(yoy)	5.0	0.5	15.3	13.4	12.5	15.7	19.4	13.3	11.1	5.5	21.6	23.1
国際収支	経常収支(10億ドル)	49.2	27.5	22.6	0.6	6.1	8.7	7.1					
	外貨準備高(10億ドル)	267.7	295.9	327.8	317.3	331.5	326.8	327.8	336.1	326.6	325.0	336.1	339.0
物価	卸売物価(yoy)	6.3	3.8	2.7	1.8	2.3	4.6	2.3	0.9	1.1	0.9	0.9	0.3
	消費者物価(yoy)	10.1	7.2	4.9	5.3	5.1	3.9	5.3	5.3	5.7	5.3	4.8	5.4
金融	マネーサプライ(M3, yoy)	14.8	10.7	10.7	10.9	10.6	10.7	10.7	10.5	10.8	11.4	10.5	11.0
	株価指数(BSE Sensitive)	21,171	27,499	26,118	27,957	27,781	26,155	26,118	25,342	24,871	23,002	25,342	25,607
	TB3ヶ月	8.81	8.65	7.65	8.30	7.82	7.32	7.16	7.27	0.00	0.00	7.27	6.81
	為替レート(ルピー/ドル)	59.0	61.1	64.3	62.0	63.7	65.4	66.1	67.6	67.9	68.6	66.3	66.5
	為替レート(円/ルピー)	1.66	1.74	1.88	1.92	1.91	1.86	1.84	1.70	1.78	1.65	1.69	1.61

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、GDPは年次は2013年から新基準。年度は4月から翌年3月。新車販売は乗用車に限る。

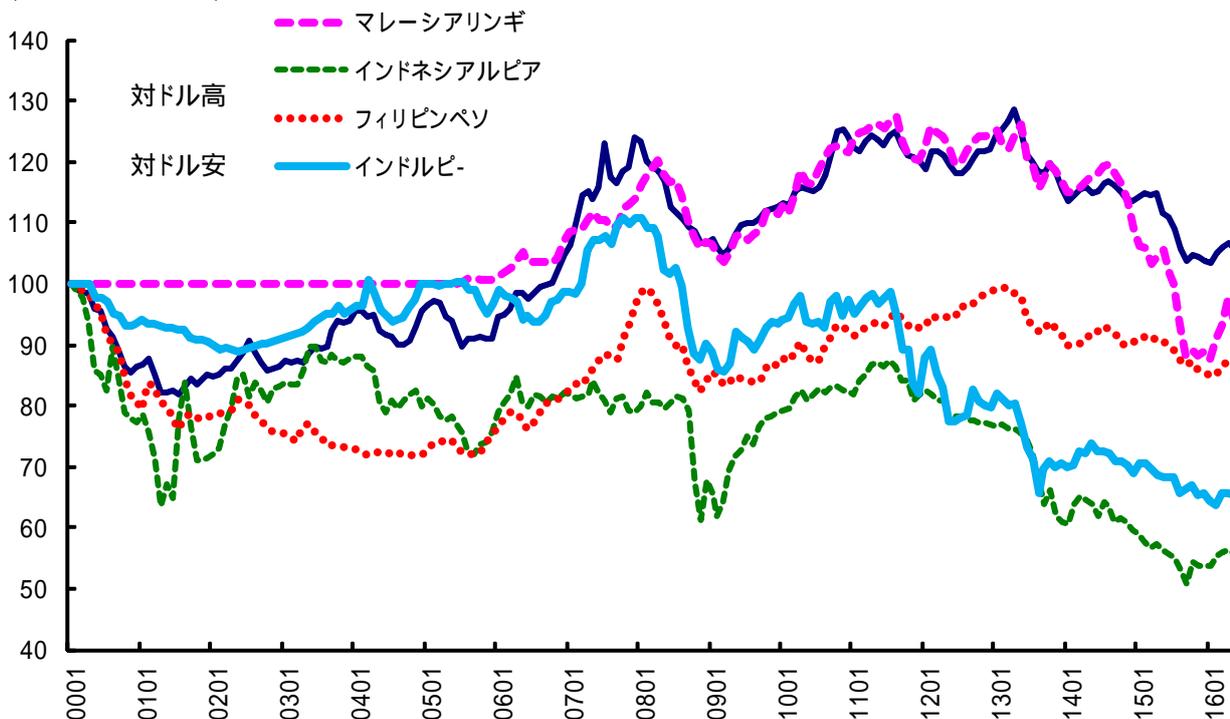
アジア通貨・株価動向

アジア通貨の対ドル相場の推移

(2000年1月 = 100)



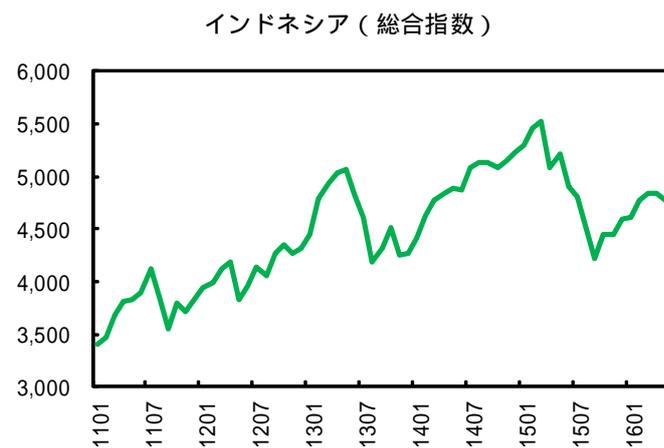
(2000年1月 = 100)



(出所) CEIC

(注) 直近データは5/1-5/25の平均値。

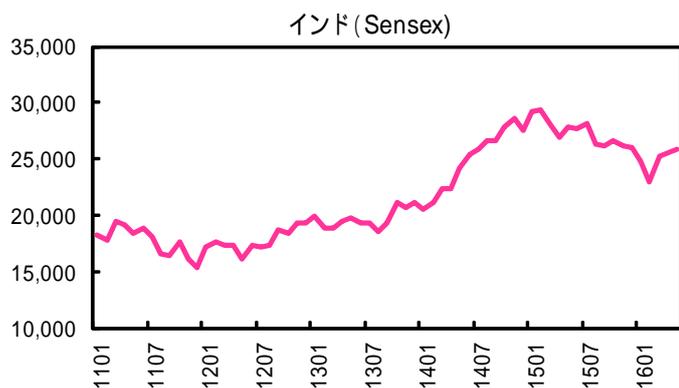
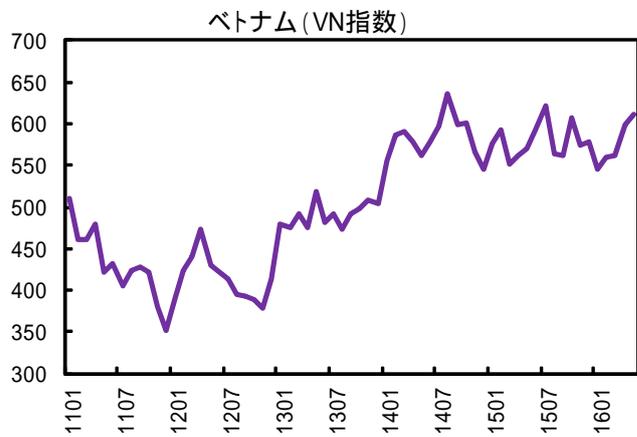
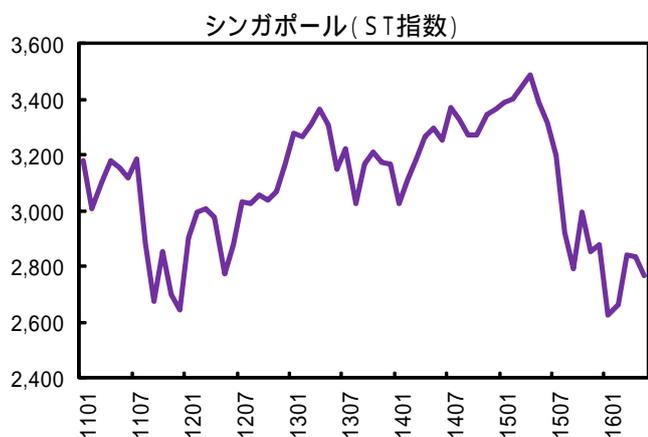
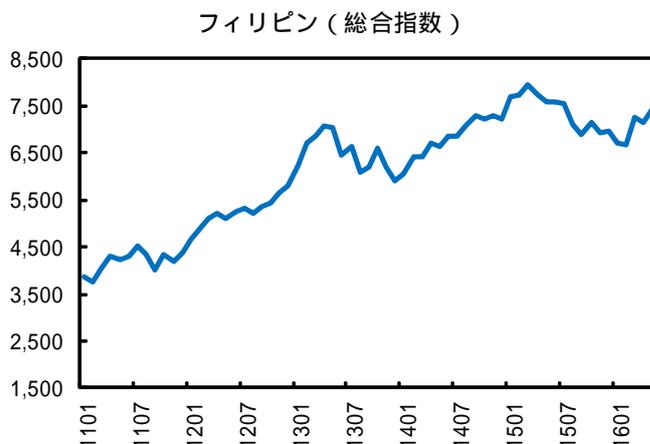
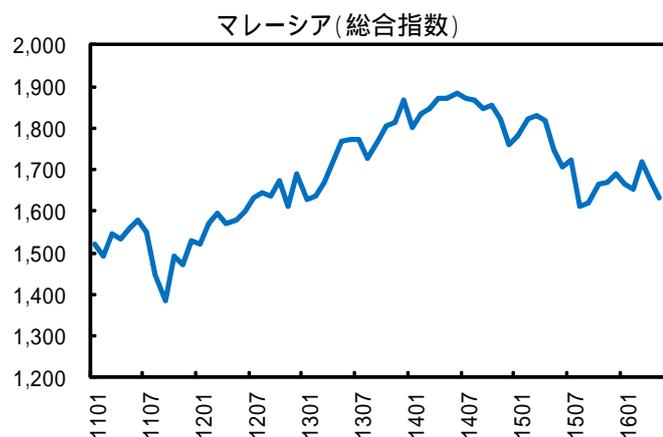
アジア諸国の株価動向（月末値）



(出所) CEIC

(注) 直近データは5/25終値。

アジア諸国の株価動向（月末値）



(出所) CEIC

(注) 直近データは5/25終値。

- ご利用に際して -

- 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。